

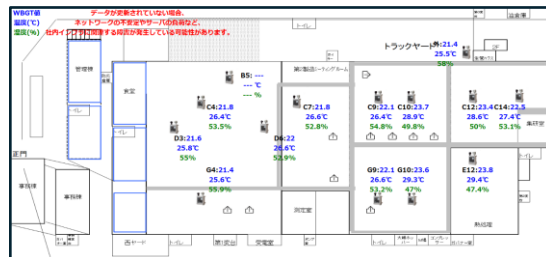
デジタル生産管理板の導入

生産管理板を手書き⇒デジタル化し、
入力データを自動転送する仕組みを導入。
各ラインの稼働状況を即座に確認可能にし、
データを一元管理。



WBGT(暑さ指数)の見える化

作業環境の暑熱・寒冷の傾向を把握し、
対策効果を定量的に評価。
客観的データをもと安全で快適な職場づくりと
労災リスク低減へ。



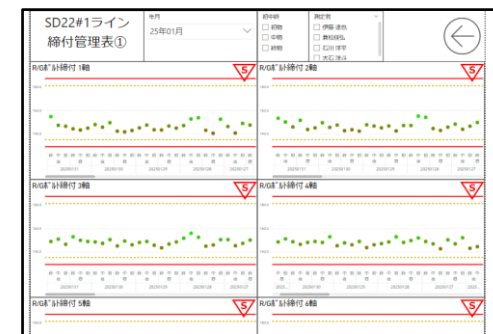
生産性システムの構築

生産実績システムと勤怠システムを連携し、
作業時間と製品時間を自動算出。
日別・直別の能率をリアルタイムに可視化。



締付トルクデータのデジタル化

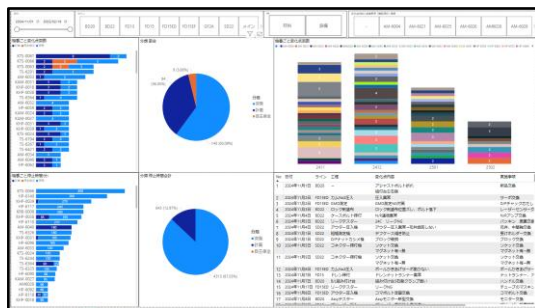
締付トルクデータを無線転送し、
自動入力する仕組みを導入。
データの傾向管理により自動で判定させ、
属人的なやり方から脱却。



変化点管理シートのBI化

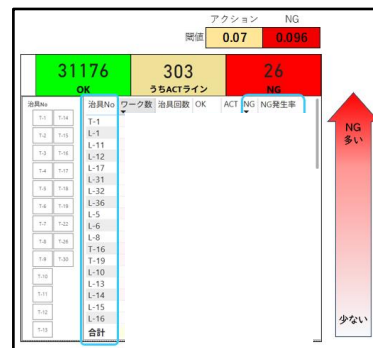
※BI化・・・PowerBI活用によるデータ分析

管理シートを紙⇒Excel入力に統一し、
Power BIで自動集計・可視化。
過去データの迅速な検索を可能に。



熱治具管理のBI化

熱治具管理をPower BIで可視化。
少ない工数で交換すべき熱治具を
すぐに見つけることが可能に。



就業管理のBI化

労務リスクを早期把握し
可視化・分析を容易にし
効率的な業務改善と経営判断を可能にする。
⇒全社展開へ



生産実績システムのBI化

生産数・投入工数・可動率などを
システムに統一入力し、自動集計を実現。
トレーサビリティデータとも連携し、
Power BIで可視化。

